

令和8年1月17日
北関東フォーラム
於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム 令和8年度 第1回

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

昨年の例会で神藤評議員会議長が、国際電話を使った巧妙な特殊詐欺の電話を受け、見事な判断で撃退した体験談を紹介されました。

年末、シムックスの人事部宛てに私の名前でメールが入りました。「新規プロジェクトを立ち上げるから、LINE グループを作成し、QRコードを送ってグループに招待して・・・」と、業務命令を装ってお金を振り込ませる詐欺メールでした。

受けた社員は、AI研修の初級講座に参加する会長がこのようなテクニックでメールを送る筈はないだろう・・・と判断し、担当役員に連絡。直ぐに社内に注意喚起を致しました。最近、この手のビジネスメール詐欺がかなり報告されています。

私の個人スマホにも詐欺メールの類が頻繁に来ます。皆さんも経験されているのではないのでしょうか。勿論、私は知らない相手からの電話は出ませんし、メールも開きません。世の中変わりましたね。くれぐれもお互い注意しましょう。

朋友

では、論語に参ります。本日の論語のテーマは「朋・友」です。ご一緒に素読を致しましょう。

(全員で素読)

初めて参加された方もおられるので、少し前置きをさせて戴きます。

論語は、孔子がお弟子さんから色々なことを聞かれ、それに対して答えた言葉、それから孔子の行動をお弟子さんが記した言行録です。

論語が書かれて2500年くらい経っているわけですが、それほど大昔のことがなぜ今の時代に続くのか、当然そういう疑問があります。それは、孔子がお弟子さんから聞かれた事に対して答える中身が、イエス・キリストやお釈迦様と比べて非常に身近な答えだから、現代の日常生活にも大変役に立つのだと思います。

日本で初めて株式会社制を導入し「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一は、自分の

人生で一番役に立ったのは論語であったと公言しています。ご存じの通り、洪澤栄一は明治政府に仕え、今で言えば財務省の事務次官として官僚の仕事をこなし、実業界へ転じてからは、第一国立銀行はじめ日本の基幹産業となる 500 社以上の企業の設立や経営に関わりました。その時の判断基準は、論語に依ったわけです。会社を創る時や家庭生活でも、すべて論語が判断基準になったと回想しています。

更に晩年は、自身で論語を書き写したものを小さな冊子に印刷し、常に持ち歩いて、若い実業家や学生達に「人生や事業において疑問があれば、すべて論語の中に答えが書いてある。論語を読んで勉強しなさい」と渡していました。それほど論語づけの一生を送りました。

私は洪澤栄一の『論語講義』という本が好きで、論語の解説をする時には、これをベースにしてお話しています。

解説致します。

① し いわ 子曰く、まな 学びてとき 時に之を習う、これ 亦 なら 説ばしからずや。また 朋のよろこ 遠方自り来る有り、とも 亦 えんぼう 樂しからずや。きた 人 あ 知らずして また 愠 たの らず、ひと 亦 し 君子 いきどお ならずや。また 君子 くんし ならずや。

(学而第一・1)

子曰く、学びて時に之を習う、亦 説ばしからずや。

「子」は先生です。ですから孔子は、孔先生という意味です。「時」とは、年がら年中です。

孔先生が言われるには、お師匠さんから色々なことを教わったら、思い出すたびに復習をする。(お師匠さんから習ったことを何度も思い出すことができる)それは何と楽しいことではないか。

朋の遠方自り来る有り、亦 樂しからずや。

「朋」は一緒に学んだ人、学友です。

学友が遠くからわざわざ私を訪ねて来てくれた。(共に学問について語りあえる)何と嬉しいことだろう。

人 知らずして愠らず、亦 君子ならずや。

勉強して自分なりの自信がついたなら、人が何を言っても気にならない。人が自分のことを知らなくても、少しも腹が立たない。そのような人物を君子と呼ぶけれども、私はそういう君子を目指しているのだ。

この章句は「小論語」とも呼ばれます。論語のエッセンスが凝縮されているから、論語の冒頭に掲げられています。この章句だけでもきちんと理解して腑に落ちたら、論語を学んだと言ってもよい、そういう一節です。

もう一つ、論語の有名な章句を紹介しましょう。

○ 子曰く、吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず。

(為政第二・4)

これは孔子が晩年、自分の生涯を振り返り述懐したものです。

十五歳で学問を志した。

二十代はありません。

三十代で志を立てた。立志です。

四十代で迷いがなくなった。不惑の年代と言います。

五十代で天命を知った。天命を知るとは大変なことです。私は毎年、シムックスの営業所を回って懇談会をしていますが、昨日、或る営業所の社員が「私は真向法が気に入ったので、真向法を広げようと思います。これが私の使命だと自覚しました」と言うのです。その社員は45歳ということで不惑の年代ですから、天命を知ったと惑わず言えるのは頼もしいことだと感じました。

六十代で人の言う事を素直に聞けるようになった。耳順です。

七十代で心の欲するままに行動しても道を外れなくなった。自分のやりたい事をやりたいようにやって、社会のルールを逸脱しないということです。

論語は七十代で終わっていますが、先日、東京フォーラムで会員さんから「七十代を過ぎた人に対する言葉はありますか」と質問が出ました。そこで私は「将らず、迎えず、応じて蔵せず」と答えました。失敗してもくよくよしない。取り越し苦労はしない。問題が起きてもすつと受け入れて、さらっと処理をする。フーテンの寅さんで言うと、ケセラセラの世界です。

「将(おく)らず、迎えず、応じて蔵せず」(荘子)・・・これが七十代を過ぎた方の心構えであると、論語を解説しておられる宇野哲人先生、『大漢和辞典』を編集された諸橋轍次先生、日本を代表する漢学者お二人が言っておられます。

② 曾子 曰く、吾 日に三たび吾身を省る。人の為に謀りて忠ならざるか。朋友と
まじわ 申し なら つた
交りて信ならざるか。習わざるを伝えしか。

(学而第一・4)

曾子は孔子より 46 歳若いお弟子さんです。

吾 日に三たび吾身を省る・・・曾子が言うには、私は一日に何度も自分自身を反省して
いる。「三たび」とは、一・二・三ではありません。「三」は沢山という意味です。

人のために謀りて忠ならざるか・・・人から頼まれたことを真剣に考えて実行したか。
真心こめて対応したかを省みる。

朋友と交わりて信ならざるか・・・友人と関わるなかで、誠実に向き合っていたか。友
人から信頼されているかを省みる。

習わざるを伝えしか・・・自分の弟子に対して、自分が孔先生から教わったことをよく
考えて、納得してから伝えているか。分からないまま伝えていないかを省みる。

渋澤栄一はこの「三省」を習慣化しました。寝る前に、今日一日誰に会ったか、どんな
話をし何を約束をしたか、全部思い出してから眠りについた。くたびれきって寝てしまっ
た場合は、翌朝に前日の行動を省察したそうです。

三省の術を身に付けたので、数年後に会った時でも、いつ頃会って何を話したか自然と
浮かんでくるようになったといいます。これが世に言う「渋澤老人の記憶術」です。

しかし渋澤栄一は一日に 2、30 人もの人と会っているわけですから、全部が全部思い出
せるわけがありません。ですから私の解釈は、大事なことや胸にグサッと突き刺さったよ
うな話はパッと思い出したのでしょう。そうすると思い出された人は驚いて、渋澤さんは
凄い！ という話が広がったのだと思います。

こういう習慣を身に付けると良いですね。自然と大事なことや忘れてはいけないことが
心の中に奥深く入ります。少し難しい言葉ですが、顕在意識の中に残る。そして特に重要
だなどと思うと、潜在意識に入るのでしょうか。時間の関係で詳しい説明は致しませんが、顕
在意識と潜在意識について気になった方はどうぞお調べ下さい。

③ 子曰く、忠 信を主とし、己に如かざる者を友とすること母かれ。過 ちては則ち
あらた はばか な
改むるに憚ること勿かれ。

(子罕第九・24)

忠信を主とし・・・真心や信頼をベースにして生きていこう。

己に如かざる者を友とすること母かれ・・・自分よりレベルが低い人間を友達としてはいけない。

普通はそう解釈しますが、少し深掘りをします。自分よりレベルが低い人が友達にいるのは当たり前ですから、その人に対して上から目線で話してはいけない。対等に話をして、相手が「自分は足りなかったな」と自覚するようなお付き合いの仕方が良い。そのように捉えましょう。

過ちては則ち改むるに憚ること勿かれ・・・間違いは素直に認め、繰り返さないようにしなさい。同じ間違いをしないと自分で決めて、実行していけばよいということです。

一口知識を申します。「母かれ」という文字は、「母」と間違っ**て**使われることがありますが、全く別です。「母」の点々は乳房を表しています。「毋」は、してはいけないという禁止や否定を意味します。

④ 子貢 友を問う。子曰く、忠告して善く之を道き、不可なれば則ち止む。自らを辱しむること母かれと。

(顔淵第十二・23)

子貢というお弟子さんはとても利口な、目から鼻に抜けるような頭の回転の速い人物です。つい言い過ぎるし、やり過ぎるから、孔子から氣をつけるよう言われているのでしょう。それが頭に残っていて、どういう人を友人とすれば良いのか、どういうお付き合いをすれば良いのか、孔子に聞いたわけです。

孔子が答えて言うには、忠告する時はよくよく考えて、あまり強く言わない方が良い。ほどほどのところでやめておきなさい。強く言い過ぎると相手が腹立てて、絶交にもなりかねないから氣をつけなさい。

私も似たような経験が何度かあります。以前、所属していた団体のメンバーの行動がとても賛同できなかったの**で**、良かれと思って忠告をしました。正しさだけで余計な事を言ってしまったので、相手は真っ赤になって怒り、その後お付き合いはなくなりました。人に対して忠告する時は言い過ぎないように、腹の中にあっても止めとけ・・・と肝に銘じた体験です。

⑤ 曾子 曰く、君子は文を以て友を会し、友を以て仁を輔く。

(顔淵第十二・24)

曾子が言うには、君子たるものは学問をすることで知らず知らずの間に友が集まって来る。友人と互いに教え合うことによって、仁徳が完成に近づいていく。

学問に熱心な人は、自然と勉強会のようなものを作り始めるものです。お互いに教え合えるような、啓発しあえるような友人を持つが良いということです。

丙午・・・大きく揺れ動く年

テーマ「令和8年を考える」に参ります。今年の干支は、丙午（へいご・ひのえうま）です。

余談ですが、年女の方はおられますか？・・・いらっしゃらないので、迷信を申し上げても構いませんね。どんな迷信かと言うと、丙午に生まれた女性は亭主を食い殺すというものです。元は中国から来た迷信で、日本に伝わり江戸時代に変化し定着しました。女の子だったら困るということで、丙午の年には子供を産まない人が多かったのです。実際、60年前（昭和41年）の丙午の年には、出生率が前年対比25%減でした。ただでさえ少子化に歯止めがかからない状況ですから、今年の出生率はどれくらい下がるのか気になります。

お手もとに「知足」1月号をお配りしています。見開きの巻頭言に「時代は変わった」と書きました。高市さんが総裁選直後に言った「働いて・働いて・働いて・働いて、働いてまいります」という言葉を聞いて、私は「時代は変わった」と思いました。

そしてもう一つ、トランプさんのベネズエラへの攻撃を見て、「時代を変えた」「アメリカをならず者国家にした」と思いました。それを踏まえて令和8年を考えます。

レジュメにありますように、丙午の「丙」は陽氣が発展した象（かたち）、「午」は反対勢力の突き上げを意味します。政治で言えば、今までの既成政党が順調に政権運営をしていたけれども、反対勢力が力を持ってぐんと伸びてきたと考えます。これは安岡干支学をベースにしてお話しています。

ですから丙午の今年は、燃え上がるような、乱氣流が発生するような、大きく揺れ動く年回りだと思って良いでしょう。とにかく相当なぶつかり合いが生まれる年だとお考え下さい。仕事している人であれば、お客さんとぶつかる。家庭では親と子がぶつかるとか、親同士でぶつかる。そういう感覚で見ればよろしいでしょう。

金融緊急措置令 ― 昭和 21 年 2 月 17 日を調べよう ―

レジュメをご覧ください。79 年前の金融緊急措置令について、昭和 21 年 2 月 17 日の新聞から、一面の見出しを抜粋して挙げました。実際の新聞コピーを回覧致します。これは私が国会図書館へ行って、朝日・毎日・読売・日経・東京の五紙をコピーして来たものです。

79 年前は、インフレがどんどん進んでいった時代です。学者が調べた数字によると、物価指数は 100 倍くらいでした。どんどん物価が上がっていくので、何とかしなければならぬということで、政府が金融緊急措置令を出したわけです。

今、ペットボトルの値段はいくら位でしょうか。売り出した頃は 100 円位だったと記憶していますが、今は 200 円に迫るような自販機もありますね。79 年前、仮にペットボトルが 100 円で売っていたとしたら、インフレが収まった時、100 倍の 1 万円になっていたということです。今は、高いといっても 2 倍です。但し、これからもっともっと上がるでしょうという話です。

では、当時の新聞を見ながら金融緊急措置令について解説を致します。

① 日本産業経済新聞→金融緊急措置

- ・けふから八日間完全封鎖
- ・預金の支払制限 日用品に限界価格 生鮮食料品を統制
- ・新日銀券を発行 給料は月五百円迄 三月三日に財産調査
- ・封鎖は半年以上 財産税徴収後に解除

② 朝日新聞→経済危機突破へ非常措置

- ・けふから預金封鎖 解除は財産税徴収後
- ・預金払出し制限・新円発行 十円以上の旧券は三月二日限り無効

③ 毎日新聞→金融緊急措置令

- ・インフレ防止の“緊急令”出づ
- ・けふから預金封鎖 一般引出を禁ず 生活資金（世帯主月三百円・世帯員百円）は支払う
- ・食糧緊急措置令けふ交付
- ・臨時財産調査令 三月三日午前零時 財産調査実施日決る

まず、預金封鎖です。分かりやすく言うと、新しい法律が出来ました。本日施行で預金

封鎖をします。皆さんの銀行預金はもう下ろせません・・・というものです。

お金を下ろせないのだから、タンス預金のまま持っていようと思いますよね。ところが、手持ちのお札は3月2日限りで無効です。それ以降はお金として使えないから銀行に預けて下さい・・・と、旧札を強制的に預金させました。そうすると、引き出しが出来ません。

そして、新円の発行です。

更に、引き出し制限です。生活資金として引き出し出来るのは、世帯主が月300円、家族一人につき100円。但し、一世帯あたり500円までという制限がかけられました。

預金封鎖を解除するのはいつかという、「封鎖は半年以上 財産税徴収後に解除」とあります。

毎日新聞には詳しく「臨時財産調査令 三月三日午前零時 財産調査実施日決る」と書かれています。財産がいくらあるか報告して貰い、正しいかどうか調査をする。その実施日が3月3日午前0時に決まったということです。

今の時代であれば、マイナンバーを持っていると、財産調査をしなくても税務署が根こそぎ調べることが出来ます。ですから政府は躍起になってマイナンバーカードを作らせているわけです。ポイントにつられてマイナンバーカードを作った人は、隠し財産から何かから全てあぶり出されることになります。

この当時の財産税の税率は、最低25%から最高で90%です。富裕層は問答無用で9割もの財産税をとられました。

以上が、昭和21年2月17日に始まりました。酷いのは、金融緊急措置令も臨時財産調査令等々もその日に公布され、その日に施行されています。

他にも、食料緊急措置令や都会地転入抑制措置令が出されています。食糧不足を抑えるために、都市への転入を禁止し、食糧を政府が管理して配給するというものです。

さてそうなる、これからの時代はどうなるのかという話を致します。

私は新紙幣が発行されるという発表があるたびに、ピリピリッとします。というのは、昭和21年2月17日と同じことをするのではないかと思うからです。そして、財務省や日銀がどういう動きをしているか調べます。

福沢諭吉の新一万円札が発行された時は、何も起きませんでした。私にとっては肩透かしでした。

昭和21年2月17日の預金封鎖は、日曜日に抜き打ちで新聞発表されたのですから、国

民は手も足も出ませんでした。一昨年の渋澤栄一の新紙幣発行については、かなり前から発表していました。私は、事前に発表したということは、今度は預金封鎖をするかもしれないと感じました。これについては民間の経済学者は真剣に取り組んでいましたし、財務省もチラチラ匂わせていましたから、これはやるぞ！ と思ったのですが、しませんでした。

ここまで少しずつ狼煙を上げておいて実行しなかったのですから、この次にやるとしたら、抜き打ち・問答無用だろうと思っています。昭和 21 年 2 月 17 日に何があったか、ご自分でもお調べ下さい。非常に参考になります。

時代が変わった

私は年 4 回、四季だよりを出しています。今年の年賀状に「今年は今迄に無い出来事が起きる気がする」と書きました。「起きる」で止めようと思ったのですが、少しぼかしました。

そのために何をしておくか、書き加えました。

- ・大事な人とは いつでも連絡がすぐとれる事
- ・食糧の備蓄
- ・自給自足の土台づくり
- ・物々交換の準備
- ・国外にも友人をつくる

今年は今迄に無い出来事が起きる・・・その根っこは、先ほど申し上げた高市総理とトランプ大統領の話です。

○高市総理・・・「働いて・働いて・働いて・働いて、働いてまいります」

ちなみに、この表記について「知足」の編集をする事務局から、新聞では「働いて働いて働いて働いて働いてまいります」と分かち書き（区切り）をしていませんが・・・という確認がありました。私は、これは新聞が間違っていると思っています。その時の高市さんの顔、特に眼を見れば分かります。高市さんは本氣でした。ですから私は、敢えて点を入れました。新聞は人が話した言葉を文章にする時、余程氣をつけないければいけません。

高市さんの「働いて・働いて・・・」を聞いて、時代が変わったと思いました。高市さんがやる事は一目瞭然です。ばら撒きたいわけですから。ばら撒くお金はどうするか。日銀券を沢山刷って、ばら撒くわけですから。

そうすると何が起きるか。インフレがどんどん進んでいきます。昭和 21 年当時の 100 倍どころではありません。他の国々では 1000 倍、10000 倍と跳ね上がったのです。ドイツでハイパーインフレが起きた時は、荷車いっぱいにお金を積んで食事をしに行った、実際の写真がドイツの教科書に載っています。

こういうことを、高市さんは期せずしてやるであろうと思っています。もうインフレ加速のギアが入った。これが、時代が変わったという意味です。

○トランプ大統領・・・「ならず者国家」にした

トランプ大統領はベネズエラに武力攻撃をし、マドゥロ大統領夫妻を拘束してニューヨークに連行しました。よその国の大統領の家を襲撃し、寝ている大統領夫婦を捕まえ連れてきてしまったというのですから、北朝鮮どころではありませんね。おまけに裁判までかけてしまうのですから、こんなバカな話があるかと思います。

トランプ大統領は、まさに「ならず者」です。ならず者が大統領をやっているのですから、アメリカは「ならず者国家」になったと言ってよいでしょう。

そうすると北朝鮮や中国は、トランプに倣って我々もどんどんやろうじゃないか・・・と追随するでしょう。これからは「ならず者国家」がやりたい放題になる、私はそう思っています。

ということで、国際的に見ても世界は変わった。時代は変わった。これからは、やり方がまるで違うものになります。

恒例の質問

お時間が少なくなりましたので、恒例の質問は手を挙げるだけに致しましょう。今年に入ってまだ半月ですが、お聞きします。

○今年に入って、良い日が続いていると思う方

良い日かどうかは主観です。自分が良い日だと思えば、良い日です。

○嘘をついていないし、嘘もつかれない方

○有難うと言いつけているし、言われ続けている方。

○身体の手入れをよくやっていると思う方

○自分磨きもよくやっていると思う方

○昨晚寝る時、「我ながらよく今日は働いた」「自分で自分を褒めてやりたい」と思って寝た方

・・・皆さん、よく手が挙がりました。結構ですね。

最後のまとめを致します。

日本の国、時代が変わった。世界も、時代が変わった。理由は先ほど申し上げた通りです。

そして今後起きること・・・今年、乱高下です。

時代は乱高下ですが、お金に関してはインフレが加速します。したがって、自分で食べ物を作る。自給自足の土台作りを始めて下さい。それが難しければ、食べ物を作っている人ともっと仲良くなる。尚且つ、国外にもそういう友人が作れると良いと存じます。国外にも目を向けましょう。

以上で本日の講話を終了致します。

山崎理事の質問にお答えして、少し付け加えさせて戴きます。

世界も乱高下がかなり酷くなります。先ほど、これから「ならず者国家」がやりたい放題になると申しました。今年それが怖いと思っています。氣になっているのは、日本が台湾有事や日本有事に目を逸らされている間に、間違いのミサイル発射で攻撃される可能性です。今まで気にしていなかった北朝鮮やロシアが、ミサイルを打ち上げたら間違っただ日本の領土に落ちてしまった・・・というような偶発的なことが起きる可能性があります。そういう事がない限り、今年はまだ戦争に巻き込まれないでしょう。

巻き込まれるとしたらいつか。中国が台湾を攻めるのに必要な軍備増強を完成させるのが来年という見方があります。したがって来年、台湾有事が起きる危険性は更に増します。日本も巻き込まれる可能性は大いにあると思っています。